

★無線通信システム研究会 (RCS)

専門委員長 村田英一 副委員長 眞田幸俊・福田英輔・須山 聡

幹事 旦代智哉・西村寿彦 幹事補佐 山本哲矢・石原浩一・村岡一志・衣斐信介・西本 浩

◎本研究会は平成 29 年度において参加費が必要になりますので、下記を御参照下さい。

http://www.ieice.org/cs/jpn/kensen/special/e_gihou2017/e_gihou2017_index.html

日時 6月21日(水) 13:00~17:25

22日(木) 9:30~17:30

23日(金) 9:30~16:45

会場 石垣商工会館大ホール(石垣市浜崎町1-1-4, <http://www.i-syokokai.or.jp/about/access.html> TEL [0980] 82-2672(会場) 旦代智哉(東芝))

議題 初めての研究会, リソース制御, スケジューリング, 無線通信一般

21日 RCS1

1. スペクトラム圧縮伝送における圧縮フィルタの差異による PAPR 特性変化に関する一検討
○白井 基・杉山隆利(工学院大)
2. 物理層秘匿性を有する下りリンク非直交多元接続方式の構築に関する検討
○堀池直登・北川博規・岡本英二(名工大)
3. 多数デバイスを収容する携帯電話網に関する高効率通信方式一周波数領域における選択ダイバーシチを用いた端末間干渉抑圧除去技術一
○森山雅文・滝沢賢一・手塚隼人・大堂雅之・表 昌佑・村上 誉・石津健太郎・児島史秀(NICT)
4. 多数デバイスを収容する携帯電話網におけるグラントフリーマルチアクセスの性能評価
○表 昌佑・滝沢賢一・森山雅文・大堂雅之・手塚隼人・石津健太郎・児島史秀(NICT)
5. マルチビーム Massive MIMO 伝送におけるオーバヘッドレスアクセス制御方式一ユーザ選択手法の提案及び特性評価一
○森野善明・平栗健史・吉野秀明(日本工大)・西森健太郎(新潟大)

RCS2

6. 時変動環境における大規模 MIMO システムのビーム選択及びビーム形状の特性評価
○山本順平・西村寿彦・大鐘武雄・小川恭孝(北大)・武田大樹・岸山祥久(NTT ドコモ)
7. 5G 低 SHF 帯 Massive MIMO における屋外実験結果を用いたサイト間連携ビームフォーミングの特性評価
○奥山達樹・吉岡翔平(NTT ドコモ)・山崎健一郎・野勢大輔(NEC)・須山 聡・増野 淳(NTT ドコモ)・丸田 靖(NEC)・奥村幸彦(NTT ドコモ)
8. 5G 超高密度分散アンテナシステムにおける大容量化技術の実験的検証一広帯域協調マルチユーザ MIMO の低 SHF/高 SHF 帯における伝送特性比較一
○筒井正文・伊達木 隆・関 宏之・箕輪彦彦(富士通)・秋山千代志・椎崎耕太郎(富士通研)・奥山達樹・増野 淳・須山 聡・奥村幸彦(NTT ドコモ)
9. 超高密度分散アンテナシステムにおけるスケジューリング処理向けハードウェアアクセラレータ
○有川勇輝・坂本 健・木村俊二(NTT)
10. 5G 高周波数帯 Massive MIMO における技術課題と検討状況
○須山 聡・増野 淳・井上祐樹・佐藤 圭・奥村幸彦(NTT ドコモ)

22日午前 初めての研究会 プレゼン1

1. OFDM と GFDM の変調方式切り替えを適用したセルシステムのスループット評価
○武居勇樹・眞田幸俊(慶大)
2. 非直交多元接続を用いた HetNet におけるピコ基地局位置の検討 ○湯川卓海・眞田幸俊(慶大)
3. Massive MIMO における位置情報に基づく到来角と距離減衰を考慮したユーザ間で公平なパイロット割当
○越後春陽・大槻知明(慶大)・姜 聞杰・鷹取泰司(NTT)
4. Channel Hopping Algorithm Based on Multiple Radios for Cognitive Radio Networks
○Aohan Li・Tomoaki Ohtsuki(Keio Univ.)
5. リアルタイム性を考慮した短符号長のブロック符号に関する一検討 ○阿部隆一・落合秀樹(横浜国大)
6. Cyclic Prefix 長の短い符号化 OFDM の特性改善に関する検討 ○荒川雅矢・落合秀樹(横浜国大)

初めての研究会 プレゼン2

7. クラスタ構造を有する無線ネットワークにおける物理層セキュリティの確率幾何解析
○岩田基暉・山本高至・西尾理志・守倉正博(京大)
8. 周波数共用型ドロウンネットワークにおけるリソース割り当て
○吉川慧司・山下翔大・山本高至・西尾理志・守倉正博(京大)

9. ダイナミックマップデータ伝送における MEC を用いた伝送遅延軽減の初期検討
○岡本頌平・岡田 啓 (名大)・石井良尚・牧戸知史 (豊田中研)・岡本英二 (名工大)・片山正昭 (名大)
10. ITS イメージセンサ可視光通信の高速化に適する伝送方式の比較
○亀川智史・山里敬也・岡田 啓・藤井俊彰 (名大)・荒井伸太郎 (岡山理科大)・圓道知博 (長岡技科大)・鎌倉浩嗣 (千葉工大)
11. MIMO-OFDM システムにおける受信ウェイトの補間による演算量削減に関する基礎的検討
○齋藤剣聖・小川恭孝・西村寿彦・大鐘武雄 (北大)
12. 屋内環境のマルチユーザ大規模 MIMO システムにおけるアンテナアレーの分散配置に関する検討
○鈴木裕也・西村寿彦・大鐘武雄・小川恭孝 (北大)

22 日午後 初めての研究会 ポスター 1

初めての研究会プレゼン 1 とプレゼン 2 の計 12 件の御講演に関しまして、ポスター講演を行って頂きます。

RCS3

13. Design and Implementation of a 3-Party Cloud-Backed Handshake for Secure Grouping of WiFi IoT Devices
Marat Zhanikeev (Tokyo Univ. of Science)
14. アンライセンスバンド LTE におけるパケット優先制御について 佐竹 孝 (NTT)
15. 大規模アンテナ無線エントランスシステムの 75 GHz 帯屋内/屋外伝搬測定
○土屋貴寛・後藤和人・菅 瑞紀・坪井秀幸・黒崎 聰・黄 俊翔・飯塚正孝 (NTT)
16. 大規模アンテナ無線エントランスシステムの特性評価
○後藤和人・土屋貴寛・菅 瑞紀・太田 厚・飯塚正孝 (NTT)

招待講演

17. [招待講演] 未定 大槻知明 (慶大)

23 日午前 初めての研究会 プレゼン 3

1. 軟判定出力 per-survivor processing による伝送路予測形多重遅延検波
○下村和輝・森 俊樹・久保博嗣 (立命館大)
2. 市販の音響電子機器を用いたソフトウェア音響モデムとそのフィールド評価結果
○竹村真志・森田宗一郎・湯本菜々瀬・村山陽寛 (立命館大)・近藤 拓 (JR 東日本)・久保博嗣 (立命館大)
3. M 系列を用いた音響通信用チャネルサウンダの性能改善手法
○中塚真衣・中務光基・森田宗一郎・村山陽寛・久保博嗣 (立命館大)
4. IEEE 802.11ax における有限リトライリミットを考慮した OFDMA ランダムアクセスの性能解析
○入木田知恭・上井竜己・ラナンテ レオナルド ジュニア・黒崎正行・尾知 博 (九工大)
5. SCMA の大規模化における符号設計簡略化に関する一検討
○稲垣慶亮・高橋拓海・衣斐信介・三瓶政一 (阪大)
6. Full Duplex におけるデジタル自己干渉キャンセラの所要自己干渉抑圧レベルの検討
○山田大貴・大友崇裕・佐和橋 衛 (東京都市大)・齊藤敬佑 (NTT ドコモ)

初めての研究会 プレゼン 4

7. チャネル復号前情報を用いた低遅延ハイブリッド ARQ 法の一検討
○今村優太・村松大陸・樋口健一 (東京理科大)
8. MIMO チャネル状態情報の繰り返し時間領域圧縮法における適応初期補間ベクトル設定法
○飯塚雅文・樋口健一 (東京理科大)
9. 固有モード Massive MIMO-OFDM 伝送におけるチャネルのヌル空間を用いた適応 PAPR 抑圧法の評価
○松本裕貴・樋口健一 (東京理科大)
10. アンテナ毎送信電力制限下の Massive MIMO におけるシステムスループットを最大化する ZF 型ビームフォーミング制御法の検討 ○河合健斗・樋口健一 (東京理科大)
11. システムスループットを最大化するサービスチャネル間の最適周波数帯域幅配分法の検討
○水野翔太・村松大陸 (東京理科大)・湯田泰明 (パナソニック)・樋口健一 (東京理科大)
12. ヘテロジニアスネットワークにおける瞬時チャネル状態に基づく接続セル選択と時間・周波数領域スケジューリングの同時最適化法 ○若井優人・樋口健一 (東京理科大)

23 日午後 初めての研究会 ポスター 2

初めての研究会プレゼン 3 とプレゼン 4 の計 12 件の御講演に関しまして、ポスター講演を行って頂きます。

RCS4

13. LTE ヘテロジニアスネットワークにおける MLD ベースの周波数オフセット推定を用いる初期セルサーチ法
○志村 彩・佐和橋 衛 (東京都市大)・永田 聡・岸山祥久 (NTT ドコモ)
14. HetNet における MCS 適応選択制御の提案 ○長沼紀裕・大澤 魁・大塚裕幸 (工学院大)
15. スモールセルへの 256-QAM の適用に関する一検討 ○大澤 魁・長沼紀裕・大塚裕幸 (工学院大)

16. Interference Minimization Through Power Allocation for MU-MIMO Under Time Varying-Channels

○Ilmiawan Shubhi・Hidekazu Murata (Kyoto Univ.)

◎22日の研究会終了後、懇親会を予定していますので御参加下さい。

☆RCS研究会今後の予定〔 〕内発表申込締切日

7月19日(水)～21日(金) 北大〔未定〕テーマ：無線分散ネットワーク，M2M (Machine-to-Machine)，D2D (Device-to-Device)，一般

8月17日(木)，18日(金) 新潟市内〔6月12日(月)〕テーマ：移動衛星通信，放送，誤り訂正，無線通信一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

山本哲矢 (パナソニック)

E-mail : rcs_ac-entry@mail.ieice.org